2017年度　町田市市民参加型事業評価　改善プログラム

番号	事業名	所管部課	評価			改善内容									
			評価結果	評価の総括	総括の整理（項目別）	所管課として受け止めた課題	目指すべき姿	改善に向けた取組	指標	現状値	目標値	達成時期	2017年度取組実績	年度計画	
														2018年度	2019年度
6	子どもセンター「ただON」運営事業	子ども生活部児童青少年課	要改善	子どもセンターには、発展的な改善をしてほしい。そのためのポイントの一点目は、基本理念を踏まえながら、事業を取り巻く環境変化を踏まえて今後のあり方を検討していただきたい。 二点目は、よい事業ではあるが、無尽蔵に市の財源をつぎ込むことには制限があるため、効率的な運営ができるような検討をお願いしたい。 三点目は周知方法。例えば、出張事業の対象を明確化し、周知方法を検討していただきたい。それによってより多くの市民のご理解をいただくことが必要であると考えている。 また、四点目として、成果指標について、明確に効果を示せる指標の検討をお願いしたい。	（1）1996年に策定した「子どもセンター基本構想」の基本理念や、その後の事業を取り巻く環境変化を踏まえ、今後のセンターのあり方を検討する必要がある。	「子どもセンター基本構想」の基本理念、及び事業を取り巻く環境変化を踏まえ、今後の子どもセンターのあり方を見直す必要がある。	環境の変化や時代に合わせて、子どもセンターの基本理念・目的が設定され、事業目的に合った事業が展開できている。また、市だけではなく、様々な担い手により子どもセンターのイベントや運営が行われている。	①　1996年に策定した「子どもセンター基本構想」及び2013年度に策定した「子どもの居場所に関する基本構想」を集約・整理し、新たな構想を策定する。	①　新たな構想の策定	①　－	①　新たな構想の策定	①　2020年3月	①　新たな構想の着手	①　新たな構想の検討	①　新たな構想の策定
								②　子どもセンターにおけるイベントの企画や運営に携わっていくための担い手（子どもセンターを利用する中学生・高校生や乳幼児の保護者、または、支援者となる18歳以上のボランティアや地域の方など）を増やす。	②　子どもセンター「ただON」の利用者等が企画運営に関わることができる会議数	②　20回	②　40回	②　2020年3月	②　20回	②　30回	②　40回
					（2）よい事業ではあるが、無尽蔵に市の財源をつぎ込むことには制限があるため、子どもセンター「ただON」が効率的に運営できるような検討をする必要がある。	子どもセンターで実施している事業の費用対効果について分析し、効率的・効果的な運営について検討、実施する必要がある。	より効率的・効果的な事業手法による運営が実施できている。	①　子どもセンターの事業が効率的・効果的に行われるよう、子どもセンターで実施している事業の費用対効果を分析し、新たな事業手法の導入について検討する。検討結果は、報告書にまとめ、市内に5館ある子どもセンター間で情報共有を行う。	①　事業手法の研究	①　－	①　研究報告書の作成	①　2020年3月	①　－	①　事例調査・研究	①　研究報告書の作成
								②　民間事業者と連携したモデル事業（イベント等）を実施する。	②　民間事業者と連携したモデル事業（イベント等）の開催数	②　－	②　5事業	②　2020年3月	②　－	②　2事業	②　5事業
					（3）例えば、出張事業の対象を明確化するなど、より多くの市民から子どもセンターへの理解（子どもセンター事業の内容の理解）が得られるよう、周知方法を検討する必要がある。	子どもセンターのみでなく、地域における他のイベント情報なども集約し、より多くの市民が子どもセンターや出張事業を利用できるようにする必要がある。	より多くの子どもが、子どもセンターや出張事業等を利用している。	①　「冒険遊び場」や「子どもクラブ」等子どもの居場所に関する施設・事業のイベント情報を集約する。集約したイベント情報は、市のホームページ「まちだ子育てサイト」やSNSで周知する。また、集約したイベント情報を基に、チラシを作成するとともに、学校等子どもの集まる場所で掲示するなど、周知する。	①-ア　「まちだ子育てサイト」やSNSによるイベント情報の周知	①-ア　－	①-ア　「まちだ子育てサイト」やSNSによる周知	①-ア　2018年9月	①-ア　現状調査	①-ア　「まちだ子育てサイト」やSNSによる周知	①-ア　－ ※取組は継続実施
									①-イ　チラシによる周知	①-イ　－	①-イ　チラシによる周知	①-イ　2018年12月	①-イ　－	①-イ　チラシの作成、周知	①-イ　－ ※取組は継続実施
					（4）成果指標について、明確に効果を示せる指標の検討をする必要がある。	事業の成果を測るアウトカム指標、目標を検討し、設定する必要がある。	事業の成果を測る指標・目標が設定され、事業の成果が市民に共有されている。	①　項目番号（1）から（3）までの取組を踏まえ、事業別行政評価シートの指標・目標を再設定する。	①　事業別行政評価シートの指標・目標の再設定	①　－	①　指標・目標の再設定	①　2019年9月	①　－	①　指標・目標の検討	①　指標・目標の再設定